

2月度の委員会の主なとりくみ（1/21～2/20）

とりくみ内容別	委員会数	参加人数
 産地工場見学	3	41
 取引先を講師に学習会	5	86
 平和のとりくみ	2	26
 内部学習会	5	90
 試食会	1	13
 その他のとりくみ	15	263
合 計	31	519

※上記以外に「枚方合同地域活動委員会」が、「第7回ひらかた食育カーニバル」(枚方市などが主催)に参加しました。(2月11日)

-  暮らしの学習会part2
1月22日 西成地域活動委員会(大阪市)
-  枚方・交野戦跡めぐり
1月26日 やまだ地域活動委員会(枚方市)
-  介護・福祉について
1月26日 門真まちづくり連絡会(門真市)
-  自然エネルギー学習会
1月26日 寝屋川まちづくり連絡会(寝屋川市)
-  食材キッドを使った簡単クッキング
1月27日 都島南地域活動委員会(大阪市)
-  防災学習会
1月27日 南平野地域活動委員会(大阪市)
-  シーサット
1月29日 やまだ地域活動委員会・山田パル委員会(枚方市)
-  マルツネ
1月30日 港地域活動委員会(大阪市)
-  立命館国際平和ミュージアム
1月30日 大正地域活動委員会(大阪市)
-  森のみどりの新たな対策とその財源のあり方を考える懇談会
2月5日 四條畷まちづくり連絡会(四條畷市)
-  タカキベーカーリー
2月6日 南港地域活動委員会(大阪市)
-  食材セット試食会
2月6日 菅原東・ながお店舗パル委員会(枚方市)

-  リサイクルプラザかざぐるま
2月6日 枚方中央地域活動委員会(枚方市)
-  チョコプレート手作り体験
2月9日 中央・成美・池田パル委員会(寝屋川市)
-  リサイクルプラザかざぐるま
2月10日 四條畷東地域活動委員会(四條畷市)
-  丸久小山園
2月12日 啓明パル委員会(寝屋川市)
-  翼製粉
2月12日 浪速地域活動委員会(大阪市)
-  交流会(ハンドマッサージ)
2月12日 天満南パル委員会(大阪市)
-  シーサット
2月13日 城東北地域活動委員会(大阪市)
-  子どもの発達や関わり方
2月13日 寝屋川南地域活動委員会(寝屋川市)
-  ぱるむ学習会
2月15日 くずは地域活動委員会(枚方市)
-  タケダハム
2月16日 下島・八雲・八雲東パル委員会(守口市)
-  夕食サポート
2月16日 大阪中央地域活動委員会(大阪市)
-  アーモンドフロランタンをつくりましょう
2月16日 大東東地域活動委員会(大東市)
-  おひなさま料理教室
2月17日 天王寺地域活動委員会(大阪市)
-  春のおすすめ商品試食会
2月18日 長吉東・瓜破東パル委員会(大阪市)
-  シャドーボックス講習会
2月19日 東住吉南地域活動委員会(大阪市)
-  パパとらくらくクッキング
2月19日 庭窪・金田・梶パル委員会(守口市)
-  天生水産
2月20日 交野北地域活動委員会(交野市)
-  補聴器学習会
2月20日 都島北地域活動委員会(大阪市)
-  パル委員交流会
2月20日 交野北地域活動委員会(交野市)

※とりくみのお知らせは該当地域の共同購入・個配の組合員さんにお届けしています。

★地域の委員さん こんにちは★

地域で様々な活動をされている地域活動委員さん・パル委員さん。そんな委員さんに突撃インタビュー!! 活動内容はもちろん、委員さんになられたきっかけやこぼれ話などをお伺いし、紹介していくコーナーです☆

今回ご紹介させていただくのは、寝屋川西地域で活動されているパル委員さん。委員さんになられてまだ1年も経たないフレッシュな6名です。「3月14日(土)には「ねやがわ福祉まつり」、4月25日(土)には「仁和寺まつり」があるので今から楽しみです」と、これからの活動に期待をふくらまされていました!!

※「仁和寺まつり」のイベント情報は8ページに。



板山さん・安東さんは、昨年春に行われた“連続講座”をきっかけに、立平さん・小田さん・富田さん・平井さんは、昨年12月に行われた“お正月商品の試食会”をきっかけに委員さんになられました。

(啓明パル委員主催の“丸久小山園工場見学”の様子は5ページ下)

※パルコプエリアには地域活動委員会が68、その中のパル委員会は約200カ所あります。興味のある方は、9ページ下の組合員活動サポートセンターにお問い合わせください。

「原発再稼働への動きはあるけれど…」

京橋本部 参加116名(組合員活動委員)

原発事故から約4年。最近では福島に関する情報がメディアでも取り上げる事が少なくなり、原発について考える機会が減ってきています。今一度、私たちの国のエネルギー政策の中で原発に依存することの是非を自分の事として考える学習の場にはしたいと、立命館大学国際関係学部教授の大島堅一先生を講師にお招きし、学習会を行いました。新潟県には7基、福島県には10基、福井県には14基。原発のある場所が、安全性を無視した集中立地になっている日本の現状の説明から学習会はスタート。原発を再稼働させないと経済がダメになるのかどうか、電気料金があがるのかどうか、温室効果ガスが増えるのかどうか、様々なデータを用い原発再稼働について分かりやすくお話をいただきました。「原発のコストは安いと言われているが、それは燃料だけの

話で、事故対応費用や使用済み燃料の処理費用などの社会的費用を入れれば高コストになります。原発を動かさなくても経済はダメにはならない」と大島先生。最後に、「福井県の高浜原発では、3号機4号機を再稼働させる動きがあります。高浜原発のある若狭湾までの距離が遠いと思っていませんか? 大阪市役所までは92km、おさかパルコプ京橋本部までは91・2kmと意外に近いんですよ。人事ではありません。福井県も高浜町も再稼働に関する公聴会や説明会を開かないとされていますが、それはしっかりと開くべきです」と締めくくられました。参加された組合員さんからは、「高浜原発と琵琶湖は近いという認識はありました。が、福井県庁より近い距離に大阪府下の市役所がいくつも含まれているのには驚きでした」「原発事故を起こせば税金で処理、原発のあるところには交付金を出す…これも税金。将来の世代に今のしわ寄せが来ないようにしたい」などの感想が溢れました。



講師の
大島堅一先生

枚方合同地域活動委員会 出展 第7回 ひらかた食育カーニバル

2月11日 ラポールひらかた



大迫力の手作りジオラマ!! 昨年の10月頃から各地域で分担し、全て手作りで完成させました



シールラリーのメダルとお土産のミックスキャロットを持って

今年で開催7回目を迎える枚方市主催の「ひらかた食育カーニバル」。さまざまな企業や団体がブースを出す中、パルコプでは枚方地域のみなさんが「いただきます」ごちそうさま。たくさんさんの命と想いにありがとう。をテーマに出展されました。普段食べているお肉やお魚などが、元は生きていたものだということを考えるきっかけにしてほしいと、委員さんが工夫を凝らして手作りのパズルやジオラマを準備。また、シールラリー形式で各コーナを回ることによって、参加した子どもたちも楽しみながら、毎日たくさんさんの命をいた

魚の切り身や、お肉の部位から、もとの形を学ぶ手作りパズル



食べ物に関する絵本の読み聞かせも大人気☆

